

段階	時間	ねらい 本時のめあて	学習活動	学習形態	○発問 ●指示 ・児童の反応	※留意点	○資料 (・は補助資料)	評価	研究テーマとのかかわり
ふれる 見つける 問いを見つける	1	わたしたちの身の回りのもののほとんどが工業製品であることや、工業製品によって便利で快適な生活を送っていることに気付く。 身の回りの工業製品を探そう。	○ジューサーでジュースをつくり、気付いたことを発表する。 ○身の回りにある工業製品を見つけ、発表する。 ○工業製品を仲間分けし、工業の種類について知る。	全 グループ ↓ 全	・ジューサーでつくと速い、楽そう。 ・手でしぼるのは大変。 ○身の回りにある工業製品には、どんなものがあるでしょうか。 ・たくさんある。教室にあるもののほとんど全部。 ○工業製品は、どのように分けられるでしょうか。 ・機械、金属、プラスチック（石油化学）、食料品	※ものをつくったり利用したりすることで、生活を豊かにしていることをおさえる。 ※原料に手を加え、形や性質を変えて人の役に立つものを工業製品ということを説明する。 ※農業や水産業などで使われる工業製品の写真を見て、社会でも工業製品が使われていることを確認する。 ※小単元で児童が使用するグラフには、工業生産の種類が示されているので、事前に学習することで関心を高めさせる。	○ジューサー ・身近にある工業製品 ・トラクター・漁船の写真 ○主な工業製品	関・意・態 身の回りにある工業製品を進んで見つけ、工業生産について、関心をもっている。(ノート)	<自ら問題をとらえ> ②学習活動の工夫 身近な工業製品を実際に使っている場面を見せたり、工業製品を仲間分けしたりすることで、工業生産に興味関心をもたせるようにする。
	2 本時	日本の工業生産の様子について関心を持ち、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 宮城県の工業の様子を調べよう。 学習問題：工業生産がさかんな地域の様子を調べて、日本の工業生産の特色を見つけよう。	○宮城県の工業の様子について知る。 ○工業生産が盛んな地域を確認する。 ○学習問題を設定する。	全 個 ↓ ペア ↓ 全	○宮城県の工業生産はどれくらい盛んなのでしょうか。 ・宮城県は食料品が多い。 ・日本全体の1%しかない。 ・どこで工業が盛んなのだろう。 ●工業生産が盛んな地域はどこか、白地図に名前を書きましょう。 ・東京や大阪などの大きな都市で工業が盛んなようだ。 ○宮城県とどんなところが違うだろう。 ・工業製品が多くつくられている。 ・つくられている工業製品の種類が多い。 ・生産額が多い。 ・人口が宮城県より多い。 ・交通（高速道路・港・空港）の便利さ。	※日本全体と宮城県の割合の比較や宮城県の工業の様子から、日本の工業について関心をもたせる。 ※日本地図を示し、工業が盛んな地域を予想させる。 ※宮城県との違いは何か、予想を発表しながら調べる観点を見つけるようにする。 ※「特色」の意味についておさえるようにする。	・かまぼこ工場の写真 ○日本全体の工業生産額に示める宮城県の割合を示したグラフ ○宮城県の工業生産の様子を示した資料	関・意・態 工業生産が盛んな地域の様子について、関心をもっている。(ノート) 思・判 工業生産が盛んな地域の様子について、予想を書いている。(観察・ノート)	① 資料提示の工夫 自分たちの住む宮城県の工業生産の様子を取り上げ、日本の工業生産額と比べることにより、宮城県と日本全体の割合との大きな違いから、日本の工業生産について問題意識をもたせるようにする。
調べる 考える 問いを深める	3 ・ 4	工業生産が盛んな地域の様子について調べ、重化学工業が発達し、海沿いなどに工業地帯・地域が集まっていることを理解する。 学習問題について調べよう。	○工業地帯・地域の場所を、拡大した日本地図で確認する。 ○工業地帯・地域ごとの白地図に、分かったこと（生産額、工業生産の種類、地図帳や図書資料に示されている工場、さかんな理由など）を書く。	グループ	○工業生産が盛んな地域は、どのような様子なのでしょうか。 ●工業地帯や工業地域ごとに分かれて、詳しく調べましょう。	※調べる資料は、地図帳・教科書・資料集・図書室の本を中心とする。 ※工業地帯・地域の位置を確認し、生活グループで分ける。	○日本の業種別工場数のグラフ ○日本の従業員数別工場数のグラフ ○主な工業地帯、地域の分布図	技・表 必要な資料を選択・収集し、調べて分かったことを白地図やノートに書いている。(白地図・ノート) 知・理 工業地域の分布などの特色について理解している。(ノート)	<調べて考える> ② 学習活動の工夫 工業生産が盛んな地域の様子について、つくっている工業製品の種類や、海沿いなどに工場が立地されていることを、白地図に記入してまとめるようにする。

問 い を 深 め る	調 べ 考 え る	5	<p>調べたことから日本の工業生産の特色についてまとめ、工業生産とわたしたちの生活とのかかわりについて考える。</p> <p>工業がさかんな地域の共通点を見つけよう。</p>	<p>○グループごとに作成した白地図をつなぎあわせ、気付いたことや思ったことをノートに書く。</p> <p>○工業生産が盛んな地域の共通点についてグループで話し、短冊カードに書き、発表する。</p>	全 ↓ グ ル ー プ ↓ 個	<p>○工業生産が盛んな地域の様子と宮城県を比べると、どのような違いがあったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの地域も宮城県より生産額が多い。 ・宮城県は食料品が多いけど、他は機械工業が多い。 <p>○工業生産の盛んな地域の共通点は何でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海沿いに工場が集まっている。 ・高速道路や港など輸送に便利などところにある。 ・機械工業がさかんで、特に自動車の生産が多い。 	<p>※白地図をつなぎ合わせ、日本全体の様子が見えるようにする。</p> <p>※太平洋ベルトについて説明する。</p> <p>※大工場と中小工場について説明する。</p> <p>※工場の立地条件から、宮城県との共通点があることをおさえる。</p> <p>※工業生産が盛んな地域の共通点から、日本の工業の特色をおさえる。</p> <p>※第1時で使用したジェーサーが中京工業地帯で生産されたものであることを知り、生活と工業とのかかわりを考えさせる。</p>	<p>○分かったことを記入した白地図</p> <p>○工業地帯・地域が示してある日本地図</p> <p>○大工場と中小工場の従業員数の割合(グラフ)</p>	<p>思・判 工業生産の特色とわたしたちの生活とのかかわりについて考えている。(ノート)</p>	<p>③ 児童が考えを深めていくことができる学習展開の工夫</p> <p>工業が盛んな地域の共通点を考えさせ、板書や資料と結び付けながら示したり話し合ったりすることで、日本の工業生産の特色に気付くことができるようにする。また、工業生産の特色とわたしたちの生活とのかかわりについて文章で表現させることにより、生活と工業生産が深くかかわっていることを考えさせるようにする。</p>
		<p>考える活動：日本の工業生産の特色とわたしたちの生活とのかかわりについて考えよう。</p>	<p>○工業生産とわたしたちの生活とのかかわりについて考え、文章で表す。</p> <p>○グループで発表し合う。</p>	個 ↓ グ ル ー プ	<p>●日本の工業生産の特色とわたしたちの生活とのかかわりについて、自分の考えを書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業生産が盛んなところは、輸送に便利な海沿いや高速道路があるところ集まっています。そこではたくさんの人が働いている。立地条件を生かしてできた製品は、私たちの生活を豊かにしたり支えたりする重要な役割を果たしている。 	<p>※工場の立地に必要な条件について、これまでの学習をもとに考えさせる。</p> <p>※宮城県に自動車工場が誘致されることや、日本の工業の中でも生産額が多い、中京工業地帯で自動車が多くつくられていることから、自動車工場について関心をもたせる。</p>	<p>○宮城県の交通網が記載されている白地図</p> <p>○自動車工場の全景図</p> <p>○自動車工場が宮城県に誘致されることが決まったことを伝える新聞記事</p>	<p>思・判 これまでの学習を生かし、工場の立地について考えている。(観察・発表・ノート)</p> <p>関・意・態 日本の工業生産の特色について関心をもっている。(感想)</p>	<p>②学習活動の工夫</p> <p>自動車工場の立地場所について、理由を考えさせる活動を通して、工業生産の特色について考えを深めるようにする。</p>	
問 い を 深 め る	深 め つ な げ る	6	<p>自動車工場を宮城県のどこにつくるか考え、理由を説明する活動を通して、これまでの学習で気付いた工業生産の特色について考えを深めようとする。</p> <p>自動車工場を宮城県のどこにつくるか考えよう。</p>	<p>○宮城県の白地図に自動車工場の印をつけ、なぜそこにするのか理由を説明する。</p> <p>○宮城県に自動車工場が誘致されることを知り、次の単元で学習する自動車工場について関心をもつ。</p>	全 ↓ グ ル ー プ ↓ 全	<p>○自動車工場をつくるには、宮城県のどこにつくりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙台港の近く。船で運ぶことができるから。 ・東北自動車道の入り口の近く。輸送に便利だから。 ・なるべく東京に近い方がよいのではないかな。 	<p>※工場の立地に必要な条件について、これまでの学習をもとに考えさせる。</p> <p>※宮城県に自動車工場が誘致されることや、日本の工業の中でも生産額が多い、中京工業地帯で自動車が多くつくられていることから、自動車工場について関心をもたせる。</p>	<p>○宮城県の交通網が記載されている白地図</p> <p>○自動車工場の全景図</p> <p>○自動車工場が宮城県に誘致されることが決まったことを伝える新聞記事</p>	<p>思・判 これまでの学習を生かし、工場の立地について考えている。(観察・発表・ノート)</p> <p>関・意・態 日本の工業生産の特色について関心をもっている。(感想)</p>	<p>②学習活動の工夫</p> <p>自動車工場の立地場所について、理由を考えさせる活動を通して、工業生産の特色について考えを深めるようにする。</p>